

昨年のエース深井(鹿島)から10番を譲り受けた橋本(右)。「10番は重いけど、自分色を出していきたい」とコメント。



先制点を叩き出した赤嶺(中央)。期待のかかる赤嶺に点が生まれたことはこの日の数少ない収穫のひとつだった



永井(左)は監督の期待に答えきれず、無念の途中交代となっていました。自慢の快速もなりを潜めてしまった



この日、筑城(写真)をはじめ5人の選手がリーグ戦初出場。筑城は一年生の中で唯一、開幕スタメンを果たした

JR EAST CUP2003  
76th Kantou University League Soccer  
OPENING GAME  
**KOMAZAWA x NIHON**



期待のルーキー・巻佑樹がデビュー。しかし、持ち味は発揮できずほろ苦いデビューとなってしまった

4月12日 16:30 西が丘サッカー場	
<b>駒大 1(0-0) 1 日大</b> (4位・1) (4位・1)	
得点者(アシスト)	
【駒】46分:赤嶺真吾 1	
【日】53分:横山祐次 1	
<b>KOMAZAWA</b>	<b>NIHON</b>
GK②牧野利昭(2)	GK①寺地 廉(4)
DF④小林 亮(3)	DF②和田拓三(4)
DF⑤鈴木祐輔(3)	DF③末本直太(4)
DF②桑原 靖(2)	DF④佐藤元紀(4)
DF⑤筑城和人(1)	DF⑤後藤聡志(4)
MF⑥中後雅喜(3)	DF⑧岩瀬浩介(3)
MF⑩橋本早十(4)	MF⑥石井秀夫(4)
MF⑧中田洋介(4)	(59分)⑩大場祐介(1)
MF⑦中嶋裕太(3)	MF⑦宮崎 渉(3)
(62分)⑦田中信成(4)	MF⑨飯田 涼(2)
FW⑨赤嶺真吾(2)	FW⑨唐松宏光(4)
(70分)③巻 佑樹(1)	(66分)③吉見康之(4)
FW⑨永井健太(4)	FW⑩横山祐次(2)
(45分)②栗原建次(3)	(83分)⑨山口 健(3)
S U B	S U B
GK②⑩ 洋一(3)	GK②横内洋樹(3)
DF⑥⑩大澤陽介(3)	DF②塩田悠一(2)
MF⑦⑩岩本哲也(3)	MF⑦⑩亀田隆道(3)
FW⑩⑩関 光博(3)	MF②⑩稲田将吾(2)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 馬淵剛行
警告(C) / 退場(S)	
【駒】65分:栗原建次(C)	
[シュート]10:7[枠内シュート]3:3[決定機]7:4[CK]17:13	
[CK]4:3[PK]0:0[直接FK]16:15[間接FK]4:1[OS]4:1	
[支配率]52%:48%[主審]鈴木 亮哉[観衆]約3000人	
※上記データは全て左側の数字が駒澤。枠内シュート、決定機、支配率は本誌記者による記録	

## CLOSE UP 中田主将が選手宣誓

開会式、堂々と選手宣誓をこなして見せたのは駒大の新主将・中田洋介。実は中田は高校三年時にもインターハイで選手宣誓を行っている。本人は「高校のときのほうが全然緊張しました。今日はちょよと終わらせました(笑)」とコメント。

そんな中この開会式で気になる点の一つあった。それは開会式に出た中田がそのすぐ後にあった開幕戦にノーアップで出場したことである。選手が全力でプレーできる環境作りを大会関係者にはもう少し考えてほしかった。



大ゴールに迫ることが出来ない。田中、巻の投入で流れを変えようとするものの流れは変わらずタイムアップ。

「気持ちの面で戦っていない」。選手たちは試合後、秋田監督にこう言い放たれた。選手たちもそれは感じていた。「昨年比べて気持ちの面がまだまだだと思えます(田中)」、「前半ノーゴールでリズムが悪くなった。原因は気持ちの問題(永井)」。しかし、不安材料だけでなく少ないながらも収穫もあった。「赤嶺が最近ずっとチャンスがあったのに練習試合と違ってゴールを決められなかったんで、この開幕で決められ良かった」と中後が言うように新エースのゴールはこれからの期待が持てる。

優勝した昨年開幕戦では思ったとおりの結果はでなかった。しかし、2節(青学大に5・1)の快勝をきっかけに勢いにのり前期首位ターンを果たし、優勝への足がかりを築いた。それだけに次節は是非でも勝ち、勢いにのりたいところだ。新制駒大の真価が問われるのはこれからである。